



NO 89

11月11日

発行

〒869-12

熊本県菊池郡

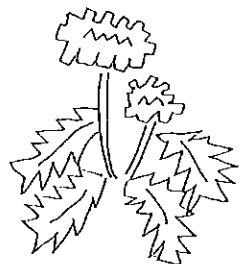
大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



大江健三郎さんの事

理事長 田中 稔

大江健三郎さんが今年のノーベル文学賞を受賞されました。私は読書が好きで沢山の本を読むのですが、大江さんの書かれたのは『新しい人よ眼ざめよ』と『人生の親戚』の2冊しか読んで事がありません。読む質が大江さんのレベルに到達してない様です。

先日、NHKで受賞記念番組として立花 隆さんと大江さんの対談がありました。大江さんが『自分には小説を書くという事を自分のすぐ近くにある小さな問題、或いは課題から出発してその課題がかわる人としての根幹的な諸々の事を内包する小宇宙を作り出す事という様に考えている。そういう形で(小説という形)自分の持つ問題点や課題への解決を自分の中に見いだしてきた。』と言われま

した。

おもしろいのは、5年位の周期で同じ問題が再登場してきてその都度、違う大きさ、内容の宇宙を構築しなくてはならなかった。直線的に変わる、或いは大きくなる或いは高くなるというのではなく螺旋状に揺れ動きながら登ってゆくというのです。

大江さんの作品群の中の大きなテーマの流れは、障害を持つ長男光さんの存在です。

今、マスコミはこぞって光さんの音楽的才能を持ち上げCDを2枚も出す作曲家と報道しています。作曲家として独立されたので小説家としてのテーマも終わり、最後の三部作『燃えあがる緑の木』で救われたという形で終わるといふ事の様です。しかし、立花さんは人生としての仕事もこれで終わりという事になるのでしょうかという問いを出されています。

光さんの作曲家として自立と一

般社会での自立とは違います。作業所へ通う光さんを送り迎えされ寄り添って歩いておられる普段着の大江さんの姿は、障害児を持っている普通の父親の姿そのものです。

『祈りと共生』によって救われるという事で納得出来たとしても生身の人間社会ではどうするのか、どう生きていくのかという事に直面した時、父親としてテーマや課題が無いとは思えません。小説家として完結した後、新たな方法で新たな大江健三郎さんの小宇宙を見せて頂けるものと思えます。

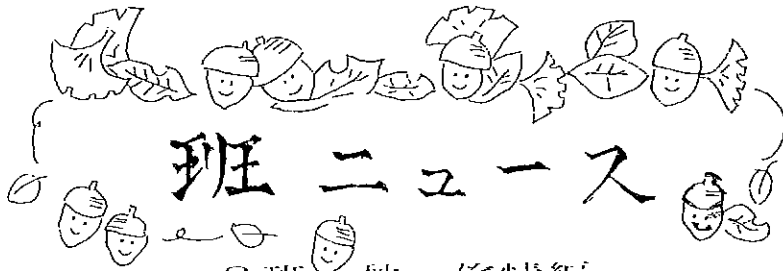


一のん気 - 二ん気 - げん気

▽朝晩の寒さが身にしみる晩秋、三気の里の周囲では稲刈りもほぼ終わり、飼料用にと結束された丸や四角のワラの束が、あちらこちらで見られるようになってきた。以前、集めたワラの多くは燃やされたり、飼料としてサイロ詰めされたりしていたようだが、最近では、専ら白や黒のビニールに包まれたワラ束(飼料用)が増えたようだ。

▽先月14日、秋の久住に再び全員でチャレンジ、紅葉真つ只中の久住を楽しむ事ができた。雨の少ない今年の夏ではあったが、久住の山々には、昨年の色彩とは比較にならないほどすてきな秋をプレゼントしていたようだ。苦しい登りの途中、鮮やかな紅葉に目を奪われ、しばし足を止め景色を眺めていた。

▽11月は、ふれあいフェスティバル(3日、菊陽町)、愛護作品展示会(11、13日、天草郡松島町)、からいもフェスタ(18日、大津町)幾つかの作品即売会が開かれます。三気の里も参加の予定です。皆が頑張って作った品々に触れてみませんか、温もりを感じてみませんか。



2 班 秋、旅行準備

今月の班ニュースのテーマは「旅」。(毎月、月々のテーマに沿った内容で、各班の様子をお伝えしてるって、ご存じでしたか?) 秋になると何かしら旅心がつき、♪知らない街を旅してみたい♪の気持ちが、ふつふつと芽生えてきます。

10月の2班レクは、南小国町のフラワーパスでコスモス狩りでした。雨が曇りかと危うい天候の中、コスモスは様々な品種が満開で、一面の“お花畑”に戯れる総勢22名でした。きっとこんなに“お花畑”が似合うのは2班だから…と自惚れながら、コスモスに負けない満開の笑顔で記念撮影もパチリ。できあがりを楽しみます。

さて、来月が今年度メインの宿泊レクです。コスモス狩りの日も、車中では「もうすぐ宿泊レクね!」「温泉にはいりた〜い!」c l c…心は山布院をめぐるっています。宿泊レクに関しては、お墨付きの2班。今回もまた何が起こるか(!?)、来月の報告に乞うご期待!

松下

3 班 農耕

“旅” 発見

新聞やテレビを見ていると紅葉も今が真っ盛り、日本各地への旅行が沢山紹介され、行きたくなる所ばかりです。お金の無い私も想像だけでは、すっかり行ったつもりになっています。旅は良いですね。見たことの無い物を見たり、おいしい物を見つけた時のあの幸せな気持ち…。しかし、何と言っても見知らぬ地で色々な人に出会い、人の暖かさに触れると、とても嬉しくなります。

農耕班の皆も年に一度楽しみにしている旅行があります。一泊二日で阿蘇へ行った事から始まり、近年では二泊三日で宮崎や鹿児島それに沖縄まで(飛行機にも乗れ)行く事が出来ました。思いがけないハプニングも起こりましたが、今となっては楽しい思い出です。皆の意外な一面も発見出来る良い機会です。

各地で色々な人達のお世話になりながら、毎年恒例の旅は続きます。果てさて、来年はどこへ行くかと夢だけは大きく膨らみます。

山中

3 班・園芸 宿泊レクに向けてGO!

私達園芸班は、先日高森町の山野草園とらくだ山にレクリエーションへ行ってきました。又、10/14には登山も行われ、みんなにとっても体力作りの秋になったようです。さて、園芸班は11/24・25・26と宿泊レクを計画しています。目的地は大分(別府・山布院)で、コースとしては、熊牧場→城島後楽園遊園地→地獄巡りを予定しています。その旅費の一部を稼ごうと園芸班も作業を園内と園外の2通りに分けて頑張っているところです。園内では先頃完成しましたビニールハウスの中でそれぞれ机を並べて花(パンジー、忘れな草、紅なでしこ、月見草…)の種蒔きをしています。又、外作業では小川農園での草取り、杜仲茶園での茶摘み作業等、マルチ(?)にこなしています。今では4月に入った新メンバー(武ちゃん、宏幸君、陽ちゃん、泰ちゃん)も旧メンバーを追い越す勢いで頑張っています。

これからも、11月の宿泊レクがみんなの思い出に残る素敵な旅になるようみんなで力を合わせて今を頑張ろうね!

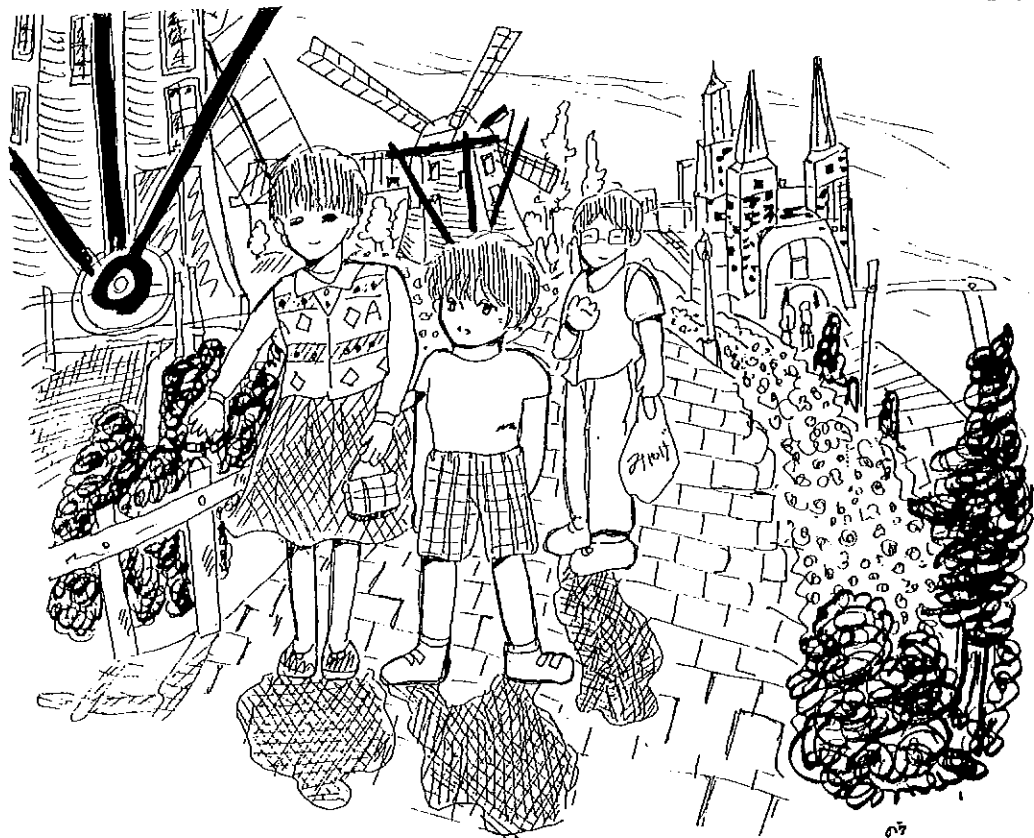
園岡

1 班 ネットタウン

長崎ハウステンボスTOUR

九十九島の見物を終え、海の玄関よりハウステンボス内に入る。一步橋を下りると、そこには19世紀のオランダの町並が開けていた。「なんてきれいなんだろう。」「日本じゃないみたいだ！」皆口々に驚きの声をあげる。庭の造り、街並、地べたのレンガ、その一つ一つに致る迄欧州から直接日本に運び込んだかの様だった。私達は幾つかのグループに分れ思い思いに街をふらついた。私個人としては“ベルの館（カロヨンシンフォニカ）”が特に印象的だった。同じ音楽クラブのゆうこさん、あっこさんも参加して実演コーナーでハンドベルを振った。一セットで中古車一台は軽く買える値段だというその“ベル”は、重厚だが、妙に余韻の残る不思議な響きを放った。そのベルと共にもう一つ心に残る話がある。バスガイドさんの如己堂の話だ。長崎市内にあるこの家は、わずかに二帖の造りですが実際にここに住んでいた方の話を『この子を残して』（水井隆博上著）という本をもとにお話しされた。その話は素晴らしく、涙が零て止まらなくなった。また“ほんの二ページ紹介します”とおっしゃったがその長い文章をとうとう一度も言いよどむ事なく（もちろん何も見られずに）読み上げられたバスガイドさんの記憶力にも深く感嘆するものがあった。そしてもう一人、添乗員のお姉さん。のりちゃんや、のぶはるさん、民さん、・・・その他たくさんの皆と、とても良い関係をもって接してくれ、最後には「お別れするのがとても寂しいです。」と語っておられたやさしいお姉さん、またこのようなツアーでお会いしたいですね。最後になってしまいました、同行されたお母様方、お疲れ様でした！良い思い出となられた事を御念じ致します。

坂本



1 班 マグカップ 諸島ノダリ島

ばんぎ〜い、「朝」

9月27日午前6時50分、起床時間に合わせて出勤すると、なんだか園内が騒がしい。もうほとんどの園生が起きている様子。この日は、1班の宿泊レクリエーションが始まる日で、うれしくて眠れなかった1班のメンバーにつられてみ〜んな早起きしたようだ。中でも朝から元気一杯だったのはまーくん。なんと一睡もしていない。今回の旅行は、伊万里〜平戸〜ハウステンボス〜長崎市内を回る2泊3日の旅。まーくんは頭の中に旅行のスケジュールをバッチリ入れてバスに乗りこんだ。伊万里ではマグカップに絵つけの体験をし、平戸城と資料館を起足早に見学し1日目の宿にたどり着いた。入浴を済ませ、レストランでの夕食、缶ジュースでの夜のお茶会と和やかなときを過ごして、午後9時頃まーくんは床に就いた。しかし、12時になっても、1時になっても、まーくんは眠れない。仲良く付き合っていた建ちゃんは2時に、かっちゃんは3時に眠ってしまったが、まーくんはただただ静かに布団の中で微笑んでいた。そして、28日午前6時、まーくんは細くカーテンを開け外が明るいを確認してから振り向きざまに力強く言った…「朝」。この日の予定はハウステンボス、まーくんはこの朝を待っていたのだ。もう一昨日の夜から…。ハウステンボスは本当にオランダ?と思うようなすてきな町並み。ホライゾンアドベンチャーやノアの劇場で不思議な体験をし、大好きなカツカレーを食べ、まーくんはもう上機嫌。楽しみにしていたハウステンボスの見学を終えて安心したのか、この日は午後8時には眠りにつき、翌朝7時までぐっすり眠ることができました。昨年は旅行に行けなかったまーくん、今年は大満足だったようです。また来年の旅行に向けて、みんなで頑張ろうね。

平川



新入所者紹介 大介くん

10月に入園した大介君です。16歳になったばかりですが体格もよくまるで野球部、みんなと仲良くやって行こうね。



雅晴くん

僕は雅晴です。初めての入所施設で不安ですが、顔なじみの人も沢山いるので、仲良くして農作業を頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



食堂営業中

10月27日、一班レクで二泊三日長崎旅行に行きました。長崎に向かうバスの中、カラオケ(みんなうまい!)、ゲームで盛り上がり、佐賀では、コーヒーマグカップに絵を描いたり、長崎では、ハウステン

ボスに行き異国情緒たっぷり珍しいものが一杯あり、また、3D映像や、劇場などがあり、客席が揺れたり、水が流れ出したりして、ちょっとみんなびっくり。
あっと言う間の三日間でしたが、台風も、雨も降らず楽しいレクになりました。
金丸

栄養の話

「甘いものはどのように食べる?」一口に甘いものと言っても、洋菓子、和菓子、コーラ飲料やスポーツドリンク、また甘酒やココアなどの甘味飲料、くだもの、など幅広くあります。これらを食べると、血糖が上昇し、食事前に摂れば、満腹で、基本食事がうまく摂れなくなったり、また、夕食後では、体脂肪に変わる率が高くなります。したがって、食事の基本を一日三食にし、甘いものは、補食として心掛け、昼間、間食として摂るのが望ましいようです。

村上



療育シリーズ

第8回

全国自閉症者施設連絡協議会

函館大会に参加して

團長 土井 尚典

全国で11番目の自閉症者の施設として三気の里が生まれた年に、各施設の経験を出し合おうと言うことで大会が始まりました。略して全自者協と言います。現在では33の施設が加入しています。九州では4つの施設が加入しています。大会の初期のころは、施設の必要性、法的助成、資金ぐりなど、自閉症者の安らげる施設作りと運営に力がはいっていたように思います。

第6回大会ごろから、具体的にパニックの問題、能力のステップアップ、作業の内容や指導法などに展開して来ました。そして、まだまだ目の前にぶら下がっている問題の解決に四苦八苦していたように思います。自閉症者の療育体系の中でのものを考えるところでなかったように思います。しかし、本大会では、自閉症者施設の目的と機能の領域で展開するだけでない

、「自閉症者の療育」という観点から物を見る事の大切さに気が付かされました。

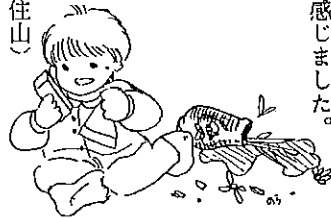
自閉症という障害は親や家族の育て方の悪さが障害の原因でなく、脳の働きの障害であると気が付いてから、脳の障害は容易なものではない、相当な努力がいる。脳の障害は徹底した療育を必要とする事が分かって来たように思います。当たり前前のことが、ここまで行き着くのに時間がかかっているように思います。障害に気が付いてからすぐに、知恵を絞って、日々丁寧に療育をしないと大変な事になると言うことが分かって来たのです。本法人の田中理事長は、既にそのことに気が付いて、幼児教室を自分の病院を提供して始めてました。「大変な事になる」と言うのは、「どんな人間に育ってほしいか」という思いからずれて問題が多い人間に育ってしまう事です。日々丁寧な療育をすれば、望ましい人間に、必ず、近づいて成長して行くということです。

大会の講演者で、小児科医であり、自閉症者の母でもある四国の河島先生は「障害を負っていない部分の脳(機能)をフルに活用し、

2次的、3次的障害をできるだけ付けないで、社会に受け入れられる子にしよう」と実践されて来ました。身辺自立、言葉、読み書き、遊び、運動、仕事など、人間が社会で生きて行くのに必要なことを徹底して実践されています。このような例を特別なケースと受け止めないで、やらなくてはならないと受け止めて行く心が大事だと思います。

自閉症者の生涯を通して、衣食住、知情意、医療、係わりあう人、社会、施設、行政や法等整理して考える必要を感じました。

秋の登山(久住山)
高田 一通



秋の紅葉がしだいに深まり始めた、去る10月14日に三気の里の秋の登山が爽やかな秋晴れの下、行われました。

今回の登山も、春の登山のときと同じ山、同じメンバーと言うこ



とでみんなも前回より速いペースで登っていました。久住山も春のころとは又違った姿を現し、辺り一面赤や橙の美しい紅葉を見ることができ、登山のきつさを忘れさせてくれました。

今回から、登山に初めて参加した鶴崎くん、有働さん、功一くん、行武さん、岩下くん、剛くん、西沢さんもみんなに遅れをとる事なく元気いっぱい歩いていました。

結局、予定時間よりも遅れて始まった登山ですが、みんなの頑張りで目的地には予定どおりに着き、又ケガなどもなく無事に終えることができました。

皆さん本当にお疲れ様でした。

11月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
		1	2	3 福社の集い(菊陽町)	4 2班レク(山布院)5日迄 俊ちゃん誕生日(28)	5 シーツ交換	
6 voの会(久住登山)	7	8	9 行夫さん誕生日(53)	10	11 愛読作品展示会(松島町) 11~13迄	12 一斉掃雪日・保護者会 山布子さん誕生日(27)	
13 からいらフエスティバル (大津町)	14	15 防災訓練	16	17 1班レク・誕生日会	18	19 シーツ交換	
20 輝き大会(運動公園)	21	22	23 久美加ちゃん誕生日(18)	24 3班レク(霞) (園)沼浦山布院26迄	25 たんぼば編集日	26 輝きバズ進行	
27	28	29	30 深くん誕生日(26)	色 俊ちゃん、行夫さん、山布子さん、久美加ちゃん、深くん誕生日おめでとう! 色 12日(土)一斉掃雪日・26日(土)輝きバズ進行 色 3日(木)文化の日・23日(水)菊陽感謝の日			



ボランテイヤ通信

空も高く澄み渡り、色とりどりの紅葉が私たちを楽しませてくれる季節となりましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？

早速ですが、11月20日(日)に行われる「輝き大会」でのお手伝いをしてくださるボランテイヤの方々を募集します。詳しくはボランテイヤ担当(今村・溝原・古田有働)までおたずね下さい。多数の方の参加をお待ちしております。



古田

輝き大会

11月20日開催

県民運動公園

輝き大会は、知的障害者の方々が入場券を払わずに、心身の発達と健康の維持増進を図り、自立への希望と勇気を与える大会として、開催されます。

三気の里でも、全員参加を合言葉に県民総合運動公園に集います。高く、速く、そして遠くへ。楽しくエネルギーッシュな大会を乞うご期待。



後援協会入会

ありがとうございます

- 丸野瑛子 門岡蓉子 坂本シマ子
- 坂本信子 田邊未彩 田邊由美子
- 平成六年十月二十八日付け
- ※敬称略

編集後記

外から、甘いきんもくせいのはのかな香りが秋風にのって漂っています。心地良い気分ひたりながらのたんぼば編集でした。古田

- ☆運動会 中村正敏 堤耕一郎
- ※先月記載漏れだったことをお詫びします。
- ☆先月記載漏れだったことをお詫びします。

敬称略